

奉仕活動続けて40年間 ライオンズクラブ式典

葛巻ライオンズクラブ（橋場清広会長・会員16人）は9月29日、結成40周年記念式典をふれあい宿舎グリーンテージで挙行了しました。

式典には近隣のライオンズクラブ員など約100人が出席。橋場会長は「少ない会員数ながら、今後も積極的な奉仕活動を続け、明るい地域社会づくりを目指します」とあいさつ。会では、記念事業として自動体外式除細動器3台を町に、元会員の故高宮時男記念事業としてグリーンテージ前庭に時計塔を1基設置しました。また、町内の清掃と献血活動を長年続け、社会貢献している葛巻高校（伊藤正博校長）に感謝状を贈りました。

会結成から40年の活動を振り返りながら、ライオンズカップミニサッカー大会の開催などさらなる活動の充実を誓いました。



さらなる奉仕活動を誓ったライオンズクラブ結成40周年記念式典。円内は、同クラブから贈られ社会体育館に設置されたAED

ユニホックの西部ツッカーズ お見事！県代表で全国大会へ

ユニホックチーム「西部ツッカーズ」が9月30日に行われた日本ユニホック選手権岩手県予選会で見事優勝。11月18日群馬県で開催される全国大会の出場報告に町長室を訪れました。「よく勝ってくれました。葛巻をユニホックの町にするようがんばってほしい」と鈴木重男町長は激励しました。



心を一つにしたハーモニー 小中学校連台音楽会で発表

小中学校連台音楽会は10月25日、町内の全小中学校と葛巻幼稚園、葛巻高校吹奏楽部員らが参加して開催されました。全校生徒7人でのハンドベルの柔らかい音色を発表した吉ヶ沢小から葛巻中学校全校126人の合唱まで「レベルの高い歌声。心のこもった優しいハーモニーで幸せな気分になりました」と盛岡教育事務所の福士幸雄先生は講評しました。



桂小文治の落語独演会。次から次へと早口で繰り広げられる話芸に、休む間もなく笑いへと引きずり込まれる聴衆

落語家招いて大笑い 下町町内会が独演会

下町町内会（鍋倉勁造会長・63世帯）は9月26日、落語家の桂小文治さんと立川団修さんを招いて独演会を開きました。

「客が牛だけだったらどうしよう」と心配顔で高座に登場した団修さんは「葛巻町総合センターで落語をやるのが夢だった」とおどけると会場は大爆笑。真打の小文治さんが「金明竹」などこっけい話を巧みな話芸で披露すると、200人を超える聴衆は笑いが止まりません。

独演会は、同会が町の「やる気まんまんコミュニティ事業」の助成を受けて実現したもので、同日は小屋瀬中学校でも開催。「喜んでもらってうれしい。多くの子もたちにも落語を聞いてほしいので続けて開催できれば」と、事務局の八木寛一さんは夢を膨らませました。

葛巻町婦人連絡協議会（柴田幸榮会長）に10月17日、「小さな親切運動県本部（代表・永野勝美岩手銀行会長）」から小さな親切実行章が贈られました。同会では、町内の公衆トイレに手すりを設置したり社会福祉協議会にシルバーカーを贈るなど優しいまちづくりに貢献してきました。



町婦協に「小さな親切実行章」



大きく育ててねと願い 今年も稚魚250キロ放流

上馬淵川漁業協同組合（稲葉暉組長）は10月12日、馬淵川にイワナやヤマメの稚魚250キロを放流。浦子内地区の大橋上流では葛巻小学校1、2年生61人が約3000匹の放流を昨年に続いて体験。「ぬるぬるしてるけどかわいい」と川に放し、大きく育つことを願いました。

各部門優勝チーム()内は参加チーム数

高校・一般男子(4)



葛巻高サッカー部
59分40秒

中学校女子(12)



江刈中学校陸上部
1時間03分30秒^新

中学校男子(19チーム)



江刈中学校陸上部
57分02秒

小学校女子(6チーム)



葛巻小学校A
41分17秒

小学校男子(8)



葛巻小学校A
39分03秒

【区間賞】

小学校	男子	吉沢敦也くん（葛巻小）	7分21秒
	女子	大峠ひとみさん（五日市小）	7分27秒 ^新
中学校	男子	阿部 慎くん（葛巻中）	10分30秒
	女子	打野里奈さん（江刈中）	11分50秒
一般	男子	高館信人さん（葛高野球）	11分03秒
	女子	桂川いずみさん（葛高野球）	13分54秒 ^新



社会人で唯一参加したJAスターズは第3位の活躍



町民 小中学校 駅伝大会

平成十九年度小中学校・第十三回町民駅伝継走大会は九月二十八日、葛巻小学校を発着点とした小学生二キロ、中学生以上三キロの周回コースで行われました。

朝方までの雨で大会開催も心配されましたが開催時間には青空も見え始め、参加した選手達は応援に詰めかけた多くの観客の声援を受けてしっかりとたすきをつなぎました。

各部門の優勝チームと区間賞は、次のとおりです。